

生研ニュース

☆大河内東大総長の生研視察☆

大河内東大総長は、2月22日(土)生研を視察された。10時から13時までの間、各部の主な研究事項を見てまわれ、また、生研所長から概況説明を受け、かつ各研究部主任等をまじえて懇談された。



写真は、光学研究室を視察中の東大総長

☆講演☆

◇教授 沢井善三郎「プロセス計算制御について」日本機械学会・日本鉄鋼協会・計測自動制御学会共催シンポジウム 全ラ連会館において(1964.1.28)

◇助手 朝倉利光「ガラスロッドの光学的均質性と発光状態」光波およびマイクロ波粒子エレクトロニクスシンポジウム 東北大学電気通信研究所において(1964.2.7)

◇教授 沢井善三郎「オートメーションに関する技術上の諸問題と今後の動向」電気学会東海支部講演会 名古屋大学において(1964.2.8)

◇助教授 森 政弘「自動化とシーケンス制御」計測自動制御学会、自動制御部会シーケンス制御シンポジウム 本郷学士会館において(1964.2.11)

◇助教授 森 政弘「経済性より見たシーケンス制御」同上(1964.2.11)

◇助教授 山田嘉昭「金属の深絞りと潤滑について」日本油化学協会、油と表面第1回講習会 日本化学会講堂において(1964.2.13)

◇教授 水町長生「ガスタービンの原理、形式とその特質」日本機械学会主催ガスタービン講習会 東京発明会館ホールにおいて(1964.2.17)

◇助教授 森 政弘「シーケンス制御と現場技術」自動制御の現場技術講習会 名古屋市工業研究所において(1964.2.26)

◇教授 野崎 弘・日歴化学工業KK 田中啓介「石油コンビナートにおける煙害防止—亜硫酸ガスによる空気汚染の除去について—」静岡県企画振興部主催 工場

誘致問題懇談会 沼津市公会堂において(1964.2.27)

◇助教授 森 政弘「機能と方法—制御と生体の立場から」電子写真学会特別講演会 NHK技術研究所において(1964.2.29)

☆寄稿☆

◇助手 朝倉利光・研究生 花田博「ガラスロッドの干渉縞と発光状態(I)均質なロッドの場合」応用物理 32 923 (1963.12)

◇助手 朝倉利光「周波数空間におけるコヒーレンス・マトリックス」応用物理 33 41 (1964.1)

◇教授 沢井善三郎「自動制御JIS案について」計測と制御 3 1 57~62 (1964.1)

◇教授 尾上守夫「水晶発振子の副振動の解析と検出」通信学会誌 47 1 38~47 (1964.1)

◇教授 尾上守夫・H. F. Tiensten (アメリカ・ベル研究所)「有限な形状をもつ高結合圧電セラミック振動子の共振周波数」通信学会誌 47 1 48~54 (1964.1)

◇教授 山辺武郎・助手 妹尾 学「The Permeabilities of Hydrogen, Sodium and Calcium Ions in Mixed Solvents across Ion-exchange Membranes」Bull. Chem. Soc. Japan 37 1 (1964.1)

◇教授 久保田 広・助手 朝倉利光・KK日立製作所中央研 小倉啓夫「光の喰り」応用物理 33 67 (1964.2)

◇助手 朝倉利光・研究生 藤原裕文「ガラスロッドの光学的均質性と発光状態」東北大学電気通信研究所主催シンポジウム論文集 p71 (1964.2)

◇助手 朝倉利光・技官 鈴木恒子「有限な大きさのインコヒーレント光源の回折像—直交偏光子をもつ偏光顕微鏡の場合」応用物理 33 91 (1964.2)

◇助手 朝倉利光・研究生 藤原裕文「ガラスロッドの干渉縞と発光状態(II)角柱ロッドの場合」応用物理 33 98 (1964.2)

◇助手 朝倉利光「光学機械」日本物理学会誌 19 75 (1964.2)

◇助教授 高橋幸伯「構造物における疲労」生産と技術 16 2 6~13 (1964.2)

◇教授 高橋武雄「機器分析の現状と動向」化学工場 8 2 3~5 (1964.2)

☆海外渡航☆

◇第2部 柴田 碧助教授は38年1月18日より39年2月18日まで University of California, Berkeley, California において原子力発電所の耐震性についての研究を行ない主として電子計算機によりそれに関連した安全性の考え方、耐震設計に対する産業界の姿勢等について調査し

た。この間、2カ月は Brookhaven National Laboratory, Upton N. Y. 外東部各地に1カ月間 Jet Propulsion Laboratory California Institute of Technology, Pasadena, California 等に滞在して研究を行ってきた。

☆ミュー型エンジンの実験と
能代協力の発会式☆

39年3月5日、積雪50cmの能代実験場で、ミュー1400 1/8 サイズのロケット・エンジン地上燃焼実験を行なった。ミュー型は、ラムダに次いで研究された大型エンジンで、今回はその初めての実験であった。



M-1400-1/8 ロケット・エンジンの燃焼実験

また、これを機会に、能代市長を会長とする能代市観測ロケット協力が誕生し、その発会式が3月3日能代市庁で行なわれ、文部大臣・東大総長等から祝辞が寄せられた。



能代協力の発会式

☆次期所長に岡本舜三教授選出される☆

第1部(基礎)岡本舜三教授は、2月19日の教授総会において、第7代本所々長に選出され、3月31日就任の予定である。同教授はわが国における地震工学・土木建造物の権威であり、近くはユーゴスラヴィア・スコピエにおける地震工学の技術指導にも大きな貢献をしている。

生研ニュース

筆 者 紹 介

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| ◇西川 精一 助教授 工博 専攻 金属材料学 | ◇野崎 弘 教授 工博 専攻 応用電気化学および光化学 |
| ◇山辺 武郎 教授 工博 専攻 無機工業化学 | ◇齋藤 茂 日歴化学工業KK |
| ◇河添邦太郎 助教授 専攻 放射性同位元素工学 | ◇田中 啓介 同上 |
| ◇竹内 雅 助手 専攻 同上 | ◇下村潤二郎 本所事務官 |
| ◇藤田 長子 助手 理博 専攻 天体物理学 | |

出版委員	委員	大島康次郎	委員	西川 精一	専門委員	星野 昌一
出版委員長 星 埜 和		川井 忠彦		*野崎 弘		菊池 真一
委員 小瀬 輝次		*山口 楠雄		小林 一輔		森 大吉郎
玉木 章夫		野村 民也		勝田 高司	編集室	下村潤二郎
水町 長生		武藤 義一				水野 晴明
						*印当番委員

第16巻 第3号

生 産 研 究
1964年3月1日発行

(本誌は生産技術研究所の研究紹介誌として、毎月1回発行する)

頒価 110円

編集者 星 埜 和
発行者 藤 高 周 平

印刷所 三美印刷株式会社
東京都荒川区日暮里町8-93
発行所 財団法人 生産技術研究奨励会
東京都港区麻布新竜土町10
電話 (402) 1331
振替口座 東京 108697 番